

研修会 評価

研修名	明日からできるがん看護				
領域	ケアする力を高める 研修	会場	看護研修センター	受講料	会 員：6,100 円 非会員：12,320 円
対 象	レベルⅡ以上で2日間通して参加できるもの 募集数(40人)応募数(37人)参加数(34人)会員数(34人)非会員数(0人)				
日 時	令和5年6月20日(火曜日)、7月5日(水曜日) 10:00~16:00				
ねらい (目標)	1. 診断期・治療期・終末期のがん看護がわかる 2. 事例を通してがん看護に必要な意思決定支援の方法がわかる				
講 師	山田 希 小俣 若子 横関 泰江 橋本 幸子 小川 知恵 今井 多恵子				
内容・方法	○講義内容 ・「がんの基礎・診断期の看護」「治療開始期の看護」「がん外科療法導入時の看護」 ・「がん看護における倫理的ジレンマ」「症状マネジメント」「緩和ケアー終末期のがん看護」 ○研修方法：グループワーク「事例検討」				
結果・評価 (受講者の意見感想)	○評価方法：アンケート アンケート回収率 74% ○受講者の理解度：1日目96%、2日目96% ○受講者の満足度：100% ○自己課題の達成度：100% 「診断から終末期まで通して学習でき、がん看護の学びを深める事ができた」「研修前は、がん治療について学ぼうと思っていたが、講義を受け治療だけやっていたらよいものではないと考えた」「本人、家族を交えてケアをしていきたいと思った」「アセスメントやかかわり方、終末期の意思決定など、様々な場面で応用できる内容であった」などの前向きな意見があった。また、「初めて zoom で事例検討したが、実際に皆さんとお会いして講義を受けて事例検討がしたいと思った」という意見もあった。				
企画の評価	○目標・内容：アンケートより整合性100%から妥当であった。 ○プログラムの妥当性：研修評価達成から妥当であった。 ○事前準備・当日の運営など： <1日目>研修開始前の講師との打ち合わせで不足があり、グループワーク発表の進行を誰が行うのか、どのように行うのかその都度講師に確認しながらの進行となってしまった。 <2日目>講師の講義が時間より早く終わってしまい、その都度進行を講師と相談しながら行っていたが、そのため時々進行が止まってしまうこともあった。講師との連携が難しいと感じた。				
課 題	Zoomでの研修の場合は、研修開始前に必ず講師用のPCでマイクとスピーカーのテストを行う必要がある。				
担当者	教育委員				